

# 畜産の担い手の育成

畜産技術センター普及指導課

実施期間：令和4～7年

## 課題・目的

■ 畜産の担い手の育成と確保を目的に、農業経営の発展を目指す意欲的な畜産経営を対象に、経営改善に必要な問題点の分析と解析を行いつつ、担い手自らが作成した経営プランの実現に向けて支援する。

## 活動内容

■ 農業基礎セミナーによる基礎知識の習得(就農5年目まで)

農業基礎セミナー対象者数 ( )内は新規参入

年度	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	計
R4	10(4)	2(2)	1	3(2)	16(8)
R5	8(3)	-	2	4(3)	14(6)
R6	5(3)	-	2	6(5)	13(8)

■ 知識の習得や対策に関する現状チェック表を作成し、ウィークポイントを明らかにした上で、普及指導員との質疑や新規就農者同士の活発な情報交換を行った。また、現状チェック表で明らかとなったウィークポイントについて巡回指導を通じてフォローアップした。

■ セミナー生同士の交流を推進するため視察研修会などの集合研修を研究と連携して開催し、指導内容の充実をはかった。これらの活動が、新規就農者の定着と知識や技術の習得につながった。



視察研修会(養鶏)

## 今後の展開

■ セミナー生によって技術レベルに違いがあるので、技術レベルに応じた個別巡回を実施することで、技術レベルの底上げをはかる。

■ 担い手の育成を通じて、社会情勢の変化に対応できるよう、セミナー生に対する助言・支援を継続する。